

令和3年度 施設長会（6月） 会議資料

（川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会）

— 議 題 —

1 各プロジェクト委員会の進捗状況について …資料1

2 施設長会での情報交換について …別添資料1

「本日のテーマ：アフターコロナの施設運営について」※全議題終了後に行います。

3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について …資料2

- （1）第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第19回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会について
- （2）課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について

4 その他

- ・新型コロナウイルスワクチン先行接種施設へのアンケート結果について …別添資料2
- ・ShareSmile かわさきについて …別添資料3
- ・人材バンク、総合研修センターより …別添資料4

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

臨時 / 4月21日（水）10時30分～

協議概要：

川崎市（健康福祉局庶務課）・老施協・事業協会による年度初めの情報交換

- ①要援護者の避難体制「個別避難計画（マイタイムライン）」について
- ②緊急ショートステイの受入れ人数拡大について
- ③二次避難所の開設について
- ④災害福祉情報共有システムについて
- ⑤応援職員の派遣について

第1回 / 6月9日（水）14時～

※オンラインとオフライン（エポック中原5階交流室）による同時開催

協議概要：

①川崎市健康福祉局庶務課より

- ・「災害福祉調整本部」の設置について
- ・特養、老健、障害者入所施設へのヒアリング
- ・二次避難所、緊急ショートステイに関するアンケート調査について
- ・二次避難所開設、訓練に必要な物資の購入に関するアンケート調査について
- ・災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（E-Welfiss）について

②正副委員長の選出について

役職	新（令和3年度・4年度）	旧（令和元年度・2年度）
委員長	平本施設長（すえなが）	平本施設長（すえなが）
副委員長	牧田施設長（多摩川の里）	牧田施設長（多摩川の里）

③今年の災害プロジェクト委員会について

基本的には昨年度までの活動を踏襲し、新たな委員の方の意見を取り入れながら委員会を推進していく。

- ・ **災害に関する研修会等の開催について**

昨年度企画していた千葉県高齢協の団体としての災害時支援や BCP 等、ニーズに沿った研修会等を開催

- ・ **応援職員の受入れマニュアルの作成**

昨年度の災害プロジェクト委員会の委員で自施設を想定し作成したので、今年度の委員になった皆さんに改めて意見をいただき、マニュアルのひな形を作成

- ・ **二次避難所（福祉避難所）の円滑な運営に向けた検討について**

令和元年度のクロスハート幸・川崎での福祉施設初動訓練、二次避難所開設訓練を参考に各区単位あるいは各施設で取り組めるシナリオの作成、
二次避難所（福祉避難所）について所管課と継続協議

- ・ **施設間連携及び情報共有について**

川崎市の情報共有システムを活用し、近隣施設（区単位）との伝達訓練等を実施し、実際の災害を想定した訓練を行い、施設間連携について検討する。

④ その他（情報交換）

- ・ 近隣自治体や施設との相互援助協定

（一時的に施設に避難した方がその後避難所に移らない場合は、避難者ではなくボランティアとして、後から避難してくる方や被災された方のケアを職員と一緒にやっていただきたいということで、役員とは話がついている。ただし、役員以外の方にも了承していただいているかは分からない。今後、近隣自治体や施設との協定を結んで連携していきたい。）

- ・ 災害時を想定した近隣施設との連携（あいさつ、協議、連携）

- ・ 備蓄品の用意、移動

（備蓄品を地下と 1 階に置いていたが、上階へ移動した。大規模災害を想定した 3 日分の物資を用意した。利用者分の備蓄品は用意したが、職員分が準備出来ていないため、これから準備する。）

- ・ BCP の作成、訓練、活用

（昨年度の研修会のひな形で作成したが、実際にそれが活用できるのか不安である。現場の職員からは文字が多いので、もっと分かりやすいものが必要であるという声もある。

LINEWORKS や安否確認サービス「トヨクモ」を活用した定期的な情報共有訓練、職員参集についても 1 年に 1 回は自宅から歩いて出勤してもらう訓練もしている。）

- ・ 蓄電池の再リース

（蓄電池の使用を想定した BCP を作成していたためリース期間が終了した際に不安になったが、再リースの話が聞けたので安心した。）

2 人材プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

第1回 / 5月19日（水）14時～

※オンラインとオフライン（エポック中原6階研修室）による同時開催

(2) 協議概要

①正副委員長の選出について

委員の互選により次のとおり選出される。

	新 (令和3年度・4年度)	旧 (令和元年度・2年度)
委員長	古敷谷施設長（大師の里）	仁科施設長（桜寿園）
副委員長	岩壁副施設長（等々力） 平山施設長（鷺ヶ峯）	古敷谷施設長（大師の里） 岩壁副施設長（等々力）

②人材プロジェクト委員会での今後の取り組みについて

人材プロジェクト委員会：奇数月第3水曜日の午後2時から開催（原則）

ワーキンググループ → ワーキンググループは廃止し、以下のとおり重点事項を定めた上で
人材プロジェクト委員会全体として取り組みを行うこととした。

【重点事項】

- ・人材定着（職員研修、介護福祉機器の導入検討、等）
- ・人材発掘（小・中・高等学校への働きかけ、地域の人材発掘に向けた体制づくり、等）
- ・人材確保についての情報収集、提供（情報交換会の開催、他都市・他施設の情報共有等）

③ハローワークでの福祉相談会

日 時：5月28日（金）13時30分～

会 場：ハローワーク川崎

参加者：23名（定員25名）

(1) 川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について、福祉の仕事・資格の案内

(2) 川崎市介護人材マッチング事業について ※株式会社シグマスタッフ

(3) 福祉の現場からの声 ※施設、在宅

講師：人材プロジェクト委員会 古敷谷委員長・小林委員

川崎市社会福祉協議会介護支援課

(4) 市内社会福祉施設の求人情報の提供 ※川崎市社会福祉協議会福祉人材バンク



④田園調布学園大学オープンキャンパス

日 時：6月 6日（日）12:35～14:20

会 場：田園調布学園大学 講堂

参 加：レジデンシャル百合丘、新緑の郷、金井原苑

保育園2施設、障害者福祉施設2施設、こども未来局

来校者78名

内 容：特別企画「福祉・保育業界のウソ・ホント」

福祉の職場について、実際の環境について説明。

高齢者分野は老施協から募集、障害分野は社協会員から募集、

福祉全般については社協で対応、保育はこども未来局で対応



⑤川崎市立橘高校 定時制 3・4 年生 校内企業説明会

日 時：6 月 1 1 日（金） 1 7 時 3 0 分～1 8 時 5 5 分

会 場：川崎市立橘高校

概 要：4 クラス中 2 クラス（約 30 名）の生徒へやりがい、仕事内容、求める人材等を説明

講 師：人材プロジェクト委員会 岩壁副委員長、職員（川崎市立橘高校卒業生）

川崎市社会福祉協議会福祉人材バンク、施設・団体事業推進課



<経済労働局より情報提供>

⑥幸高校インターンシップ

高校生の夏季休業を利用した職場体験をモデル的に実施している。

今後は全市的に拡大していく予定なので、このような状況ではあるが、受入可能な施設があれば、経済労働局まで必要書類を提出していただきたい。

⑦短期求人サイトへの登録

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度限りの予定ではあるが概ね 1 年以内の短期求人を掲載するサイトを運営している。

求人情報を掲載するにあたり、掲載から採用まで利用にあたって施設側の費用負担は一切なし。

⑧多様な人材とのマッチング支援

若者、女性、シニアなど多様な人材とのマッチングを支援する事業。

現在、開催予定のマッチングイベントはまだ無いが、開催する際にはホームページにて受付。マッチングイベントの他、企業セミナー（オンライン）や魅力発信のための記事作成も予定している。

第 56 回関東ブロック老人福祉施設研究総会・
第 19 回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会 進捗状況

1 参加申込状況について

申込締切日：6 月 11 日（金）→6 月 18 日（金）まで延長

（6 月 15 日現在）

	目標人数	申込人数	施設・団体数
県外	600	425	300
県内	800	647	356
（横浜市）	328	307	101
（川崎市）	54	78	45
（相模原市）	46	54	36
（県域）	372	208 ※合計 372 名分は 申込予定	174
合計	1,400	1,072	656

2 協賛広告について

申込締切日：5 月 21 日（金）

協賛種別	申込数 (企業／法人の数)	申込種別	1 口 (2 万)	小計①	2 口 (4 万)	小計②	合計 ①＋②
企業広告	26 社	配布資料	18	360,000	6	240,000	600,000
		HP	10	200,000	設定なし		200,000
法人広告	30 法人・施設	配布資料	24	400,000	10	400,000	880,000

◎協賛広告全体合計額…1,680,000 円（予算額：1,000,000 円）

3 第 19 回かながわ高齢者福祉研究大会研究発表審査員の推薦について

選出人数：3 人

審査期間：令和 3 年 6 月 30 日（水）から 7 月 31 日（土）まで

推薦締切：令和 3 年 6 月 18 日（金）

		人数	ブロック派遣				備考
			県域	横浜	川崎	相模原	
審査員	（介養協）	7					介養協
	（施設長）	7	2	2	2	1	施設長
	（中堅職員）	7	2	2	1	2	主任クラスで 5 年以上
合計		21	4	4	3	3	

神奈川県社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
各課題別プロジェクト会議の進捗状況報告について

1 災害対応プロジェクト会議

(1) メンバー

牧田施設長（多摩川の里）、平本施設長（すえなが）、見原施設長（ビオラ川崎）

(2) 会議等

日 時： 月 日（ ） 時～

会 場：

内 容：

2 人材確保対応プロジェクト会議

(1) メンバー

依田施設長（金井原苑）、古敷谷施設長（大師の里） ※磯野会長担当プロジェクト

(2) 会議等

日 時： 月 日（ ） 1 時～

会 場：

内 容：

3 介護報酬改定対応プロジェクト会議

(1) メンバー

清水施設長（夢見ヶ崎）、白井施設長（富士見プラザ）

(2) 会議等

日 時： 5月31日（月）午後1時30分～

会 場：神奈川県社会福祉会館

内 容： 1 リーダーの選任について
2 令和3年度介護報酬改定等に関する動向について
3 実態調査に関する各ブロックでの取り組み状況について
4 プロジェクトの方向性について